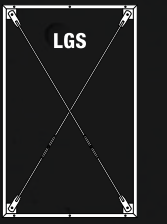


Theme

日本のロードサイドに建てたい！ デイトナハウスのダイナー

ありそうでなかなかなかった、日本人のためのダイナーを提案。
高床式でハードボイルドテイスト。デイトナハウスならではの存在です。



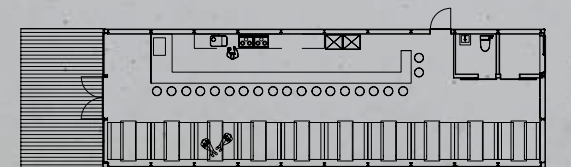
×
30
PANELS
[3枚 × 10枚]
||

かつてLGSシステムで
建築した前例



2001年～3年間、東京渋谷に存在したワイアードダイナー。LGSシステムで建築したダイナーの前例です。ミッドセンチュリーデザインを基調にした外観は、当時人気を博しました。アルミ製断熱パネルをゴムのジッパーガセットで留める外観の印象は、今でも斬新な印象です。

FLOOR PLAN



ダイナーには最適な細長いフォルムは3×10=30坪で、必要にして十分なスペース。厨房、カウンターとビニールレザーのベンチソファとシンプルな内装は、どこかの食堂車やエアストリームを彷彿とさせる空間。この手ごろな面積が、あったかい店の雰囲気と落ち着きを感じさせます。



フワリと浮かび上がった高床式のプロポーションがよくわかるCG。床下に蛍光灯のラインを仕込めば、夜間はさらに浮遊感が強調されます。列車のようなジュラルミンボディも大事なアイコンです。高床式のデッキスペースがリビング空間やガレージと連続することで、どこまでも伸びやかな開放性を演出。内観はベンチソファとカウンターを配することで、徹底的にダイナー感を演出。映画「ラルフ・フィクション」の冒頭と最後に登場するダイナーをイメージして、デイトナハウスの現代的解釈を加えました。



もともとは老朽化した列車の車両を改造してレストランにしたのが始まりと言われるダイナー文化。そのジュラルミン感のあるボディはその名残なのです。独立柱の看板サインのイメージもきわめて大切です。宣伝文句の入った「のぼり」などもってのほかの世界。クルマで乗り付け時、ほっとする空間を作りたいのです。



INFORMATION
LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田 敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

ドタッチにしました。タランティエノ監督の映画「ラルフ・フィクション」に登場するようなダイナーのイメージ。その外観は、デイトナハウスお得意の高床式工法。フワリと地面から浮かび上がるその姿は、地面に接地したありきたりな平屋とは一線を画します。仮に土地が賃貸だったとしても、この杭は逆転させればスポンと抜けるので、現状復旧は驚くほど簡単。地主も安心して借地を提供してくれることでしょう。

店舗の内部空間は、シンプルかつカッコイイを追求。ここで特に大切になってくるのは、ビニールシートのベンチソファです。一日の始まりの朝食から昼食、コーヒープレイク、ガッツリ食べたい夕食、仲間との深夜の打ち合わせまで、エブリタイム業態のダイナーには、この大づくりなベンチソファが欠かせません。CGではハンバーガーの看板になっていますが、たとえばこれが、日本人のソウルフードである生姜焼き定食がメインメニューでも面白いでしょう。夜中に仲間とつい食べに行ったり、トラック野郎にもぜひ使ってもらいたいですね。

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk), Soma YOKOI

アメリカのロードサイドにあるダイナー。ソウルフードを気軽に楽しめる場所として、ファストフード全盛の昨今にあっても、全米各地で根強い人気を保っています。言わばアメリカ人にとっての心の故郷。今回は、デイトナハウスのLGSシステムと高床式工法を使って、日本のロードサイドを想定してデイトナ的ダイナーをプランニングしてみました。

アメリカンダイナーの印象は、赤を多用した派手な雰囲気が多く、ポニーテールやブレスリーを連想させるようなイメージ。それも悪くはありませんが、デイトナ・ダイナーは鉄の素材感を基調にしたハードボイルド

What's Daytona House?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分りやすさと、パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

